

## 金沢市で「電波の安全性に関する説明会」を開催

北陸総合通信局では、3月8日（火）、金沢市の石川県立生涯学習センターにおいて、「電波の安全性に関する説明会」（共催：北陸情報通信協議会、後援：（社）石川県情報システム工業会）を開催しました。

はじめに、当局の末永力也無線通信部長が「電波の安全性に関する総務省の取り組み」と題し説明を行い、携帯電話をはじめとした電波の利用が身近になっている中、電波の安全性について、総務省では世界保健機関（WHO）と協調しながら人体や医療機器に与える影響の調査・研究を行っており、その結果に基づいて電波防護指針や医療機器への影響の防止に関する指針を定めていると述べました。

次に、京都大学生存圏研究所の宮越順二教授からは、「電波と健康」と題して説明が行われ、電波（高周波）の生体影響についての研究では、細胞実験や動物実験の結果において科学的に確定的な影響はないと考えられることや、2010年5月に公表された国際がん研究機関（IARC）の「携帯電話による発がん性リスク調査（インターフォン研究）」について、携帯電話の使用による発生リスクの増加は認められなかったことなどが報告された他、さまざまな研究結果を検証するため、国際的な調査・研究が引き続き行われていると述べられました。



説明会の模様

連絡先：無線通信部監視調査課  
（担当：徳留、大野）  
電 話：076-233-4440